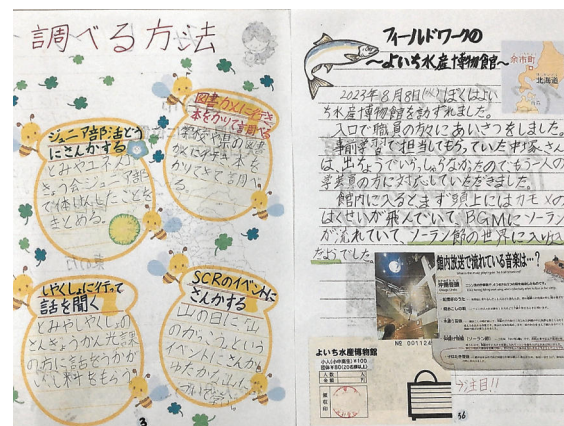


東向陽台小

東向ソーラン かっこよく



これがイチオシ

「なぜ」で学びを深める

富谷市では毎年、「図書館を使った調べる学習コンクール」が行われています。「なぜ」と不思議に思ったことや興味を持ったことを、図書館の本やインターネットなどを活用して調べたり、実験やインタビューを行ったりして分かったことをまとめます。

私たちの学校では、5・6年生が取り組みます。たくさんの内容をまとめるのは大変ですが、新たな発見の楽しさや完成時の達成感は、取り組んだからこそ感じられます。これからも「なぜ」を大切に、学びを深めます。

学校名 富谷市立東向陽台小学校
所在地 富谷市明石台1の37の13
創立 1980年
電話 022(358)4577
校長 若山 洋
児童数 644人

東日本大震災の教訓を伝える岩沼市の市民団体「いわぬま震災語り部の会」の語り部ツアーが9月27日、千年希望の丘相野が公園で行われ、新会員で岩沼南小6年の鈴木心彩さん(12)が初めて案内役を務めた。

鈴木さんは資料を手に千年希望の丘の成り立ちや津波被害の様子を説明。約50分の案内を終えると、参加者から温かい拍手が送られた。鈴木さんは「とても緊張したけど、しっかりと話を聞いてもらえてうれしかった。もっと表現を工夫し、小さな子にも分かりやすく伝えられるように頑張りたい」と話した。

(9月29日朝刊より)

運動会当日に向けて、6年生は、前年の6年生から引き継いだ「東向ソーラン」を5年生に教えます。基本の踊りを伝えることはもちろんのこと、表現を大きくすると、キレよく細かく動かすところなど、場面に応じてかっこよい踊りになるように伝えます。

当日は、5・6年生でその日の法被を着て、気合を入れて、迫力のある踊りになることを目指します。5年生は来年、教える側になります。これから東向陽台小伝統の「東向ソーラン」を、大切にしていきたいです。



編集委員 神山結汰、菅原莉菜、佐々木杏珠、畠山隼輔、赤坂奈南、木村勇稀(6年)横山優莉、渡辺将太、武山颯真、宮崎一花、小針瑠夏、三浦春樹(5年)指導教員 門脇健太、宮沢莉奈、黒坂佳織

5・6年合同で踊り披露

自分たちが教わったことを、分かりやすく伝えるのはとても難しいです。しかし、コミュニケーション能力が身に付いたり、一つのものを一緒に作り上げていく一体感や達成感を感じたりすることができるともよい伝統です。

わが校わがまち スクール通信



今回は
大曲小(東松島市)
東四郎丸小(仙台市)

豊かな海でカキむき体験

浦戸小

自然・地域の特色生かす

浦戸小学校は、塩釜市の浦戸諸島の野々島にある、小学校と中学校が併設されている学校です。自然が豊かで、地域の特色を生かした活動をたくさん行っています。その中から二つ紹介します。長浜という砂浜で、アサリを採取します。熊手で砂を掘ると、たくさんのアサリが採れます。家に持ち帰り、みそ汁や酒蒸しにして食べます。浦戸のアサリは身が大きくてとても食べ応えがあります。アサリの稚貝の採取もします。稚貝は長浜に撒き、来年、たくさん



編集委員 佐藤晟那、土生祥太郎、渡辺紗彩(5年)伊藤汐音、佐々木柊太、高山つづら、丹野希駆(6年)指導教員 鈴木寛行



これがイチオシ

美しい松島湾 船で通学

1番の自慢は、船に乗って学校に通う、とっても珍しい学校だということです。通学に使う船は3艘ありましたが、10月から2艘になりました。9月まで利用していた「しおじ」という船は2階建てで、2階デッキから見える景色は最高でした。

松島湾に浮かぶ美しい島々はとてもきれいです。中でも、おすすめは仁王島。島が「金剛力士(仁王)」に似ていることから、この名前がついたそうです。とても不思議な形をしていて、いつ見ても「すごいなあ」と思います。

学校名 塩釜市立浦戸小学校
所在地 塩釜市浦戸野々島馬越8
創立 2015年
電話 022(369)2008
校長 館内 俊
児童数 22人

小6 震災語り部デビュー

岩沼・千年希望の丘 鈴木さん「とても緊張」



資料を手に「千年希望の丘」や津波被害について説明する鈴木さん(手前)



科学でナゾとき！
わらう人体模型事件
あさだ りん 作
佐藤 おどり 絵
偕成社



学校で事件 協力して解決

小学6年生の彰吾は、パーフェクトな児童会長。しかし、彰吾には、とある秘密があります。変人で少しドジな理科教師の麒麟先生が、パーフェクトな自分の父親であるということです。

みんなに秘密がばれないように過ごしていた彰吾でしたが、学校で起きるさまざまな事件に巻き込まれ、麒麟先生の力を借りることになってしまいました。

人体模型から聞こえてくる笑い声、太陽の光が緑色に見える現象、などなど…。同じ児童

会メンバーの夏鈴や春奈たちと協力し、麒麟先生の科学的アドバイスをヒントに事件解決を目指します。

この本は、学校で起こる謎を科学の力を使って解いていくミステリーで、四つの事件が掲載されています。科学や理科が好きな人、短編の物語が好きな人におすすめです。

シリーズにもなっているので、ぜひ続けて読んでみてください。小学校高学年から。(仙台市民図書館 平塚詩帆さん)